

**GENERAL RESEARCH**

お土産に関する消費者動向調査

2018.09.13 Thu

## お土産選び 決め手は「ご当地ロゴ」！

～ 1,000 円以下は 9 割越え、女性は他人に予算をかけない!? ～

この度、ゼネラルリサーチ株式会社（代表取締役：五條 寿朗、本社：東京都渋谷区）は、「お土産に関する消費者動向調査」を全国の 10 ～ 70 代男女 1,195 名を対象に実施いたしました。

観光客にとって、旅先でのお土産選びは楽しみの一つではないでしょうか？「お土産」に対する思いは人それぞれです。そこで、自分や他人へのお土産を選ぶポイントを聞いたところ、「ご当地がわかるロゴ」と回答する人が多数占めていました。その予算を男女別にみると、自分へのお土産は、「10,000 円以上」かけると回答する女性は 1 割に満たないのに対し、男性はそれを上回る結果となりました。また、他人へのお土産には「1,000 円以下」と回答する男性が 8 割・女性も 9 割と多いものの、自分がもらって嬉しいものをお土産として選ぶ傾向が伺えました。

◆詳細はこちら：<https://general-research.co.jp/report04/>

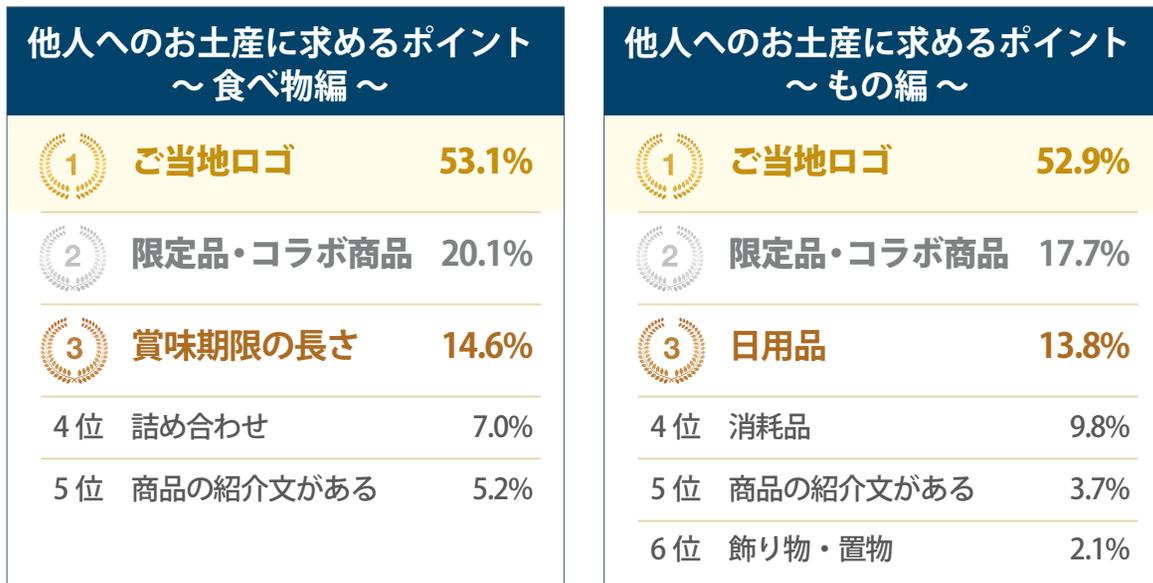
### 調査結果のポイント

1. お土産選びの決め手 50%以上が「ご当地ロゴ」！
2. お土産をもらって嬉しいポイント 上位 2 つとは？
3. 自分へのお土産予算、10,000 円超えは女性より男性多数！？
4. 他人へのお土産予算、女性の約 9 割が 1,000 円以下！

次のページへ続く

## < 調査 1 > お土産選びの決め手 50%以上が「ご当地ロゴ」！

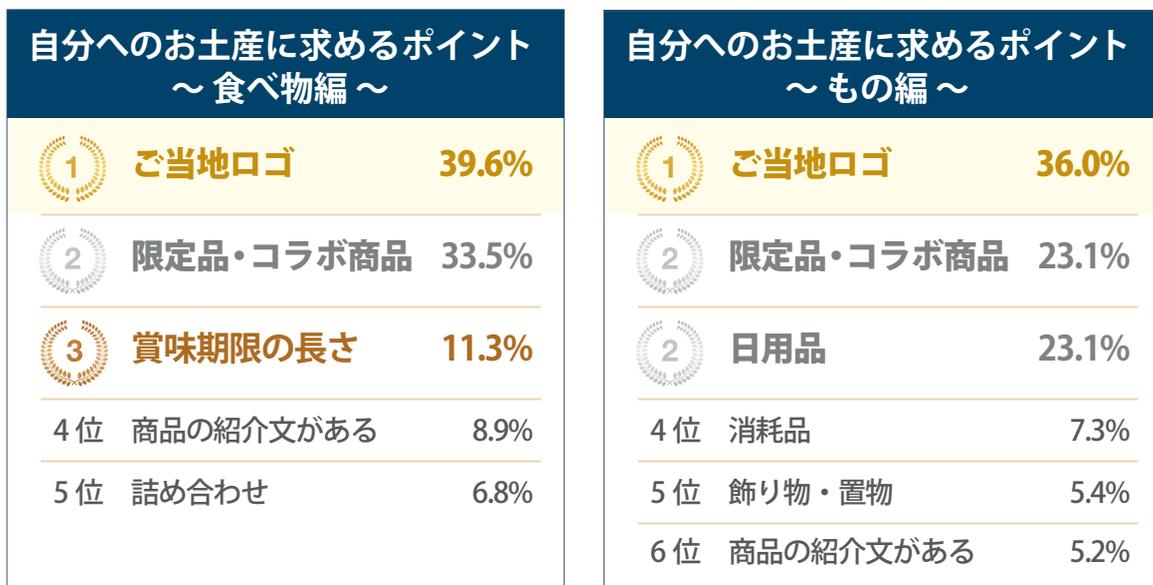
他人へのお土産選びに何が決め手となり購入するか調査しました。その結果、「食べ物・もの」共に、「ご当地ロゴ」と回答する人が半数以上と一番多く、次いで多かったのが「限定品・コラボ商品」でした<図 1>。商品自体の特別感よりも、観光・旅行してきた事実がわかる商品が求められていることが伺えます。



※ご当地ロゴ（●●県産・商品自体にご当地性が伺えるもの）、限定品・コラボ商品（『限定品』という言葉が商品の一部に表記）  
商品紹介（商品の特徴やおすすめポイントの表記）

< 図 1 >

続いて、自分へのお土産選びのポイントと比較してみました。



※ご当地ロゴ（●●県産・商品自体にご当地性が伺えるもの）、限定品・コラボ商品（『限定品』という言葉が商品の一部に表記）  
商品紹介（商品の特徴やおすすめポイントの表記）

< 図 2 >

上位 2 位までは他人へのお土産に求めるポイントと順位は変わらないものの、「限定品・コラボ商品」の割合が多く、また、「飾り物・置物」など最下位の順位も異なります。思い出としての特別感や、より自分の趣味や好みを基準に選ぶ様子が伺える結果となりました。

## < 調査 2 > お土産をもらって嬉しいポイント上位 2 つとは？

お土産を知人や同僚からもらう際に、どのようなものが嬉しいか、そのポイントを調査しました。その結果、食べ物編、もの編共に「ご当地ロゴ」、「限定品」・「コラボ商品」の回答が多く、【調査 1】の他人へのお土産選びのポイントと上位 2 つが同じであることが明らかになりました<図 3>。ほとんどの人が、もらって嬉しいと思えるものを他人へ選んでいる、ということが伺えます。

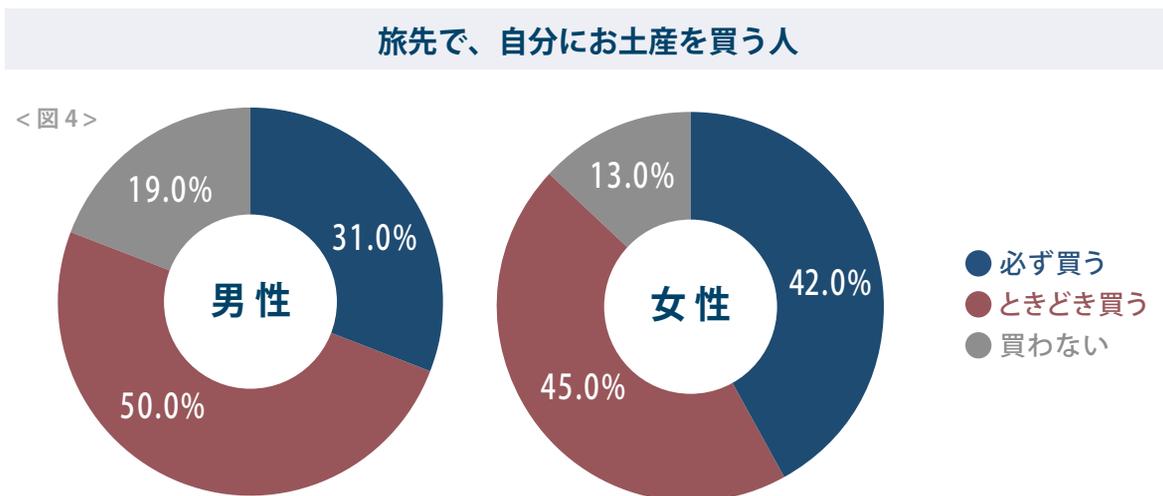
もらって嬉しいお土産のポイント ～食べ物編～			もらって嬉しいお土産のポイント ～もの編～		
1	ご当地ロゴ	36.5%	1	ご当地ロゴ	37.5%
2	限定品・コラボ商品	34.3%	2	限定品・コラボ商品	24.9%
3	詰め合わせ	14.8%	3	日用品	22.7%
4位	賞味期限の長さ	9.8%	4位	消耗品	10.8%
5位	商品の紹介文がある	4.8%	5位	商品の紹介文がある	2.1%
			6位	飾り物・置物	2.0%

※ご当地ロゴ（●●県産・商品自体にご当地性が伺えるもの）、限定品・コラボ商品（『限定品』という言葉が商品の一部に表記）  
商品紹介（商品の特徴やおすすめポイントの表記）

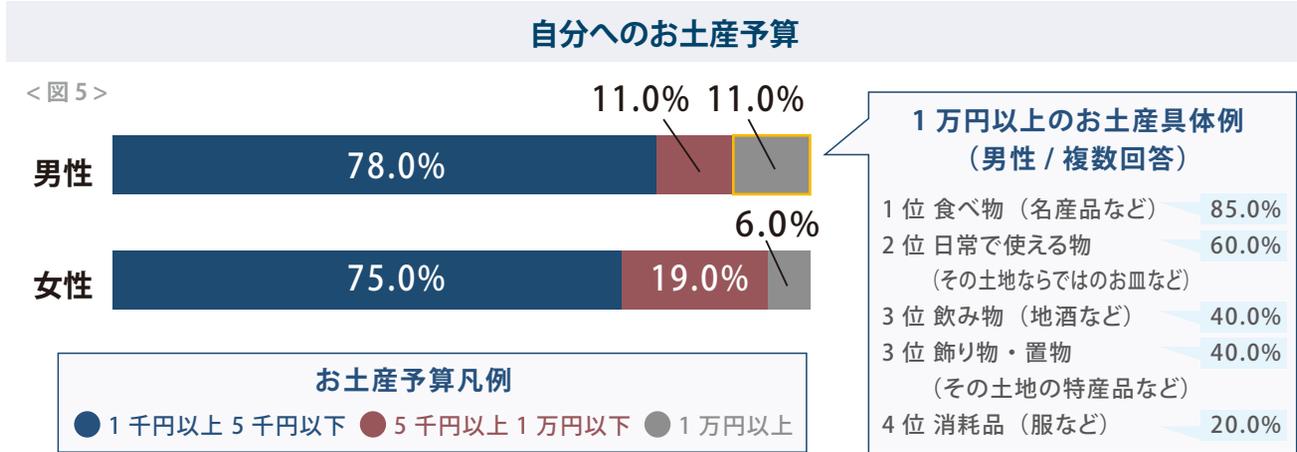
< 図 3 >

## < 調査 3 > 自分へのお土産予算 10,000 円超えは女性より男性多数！？

“お土産”と聞くと誰かへ買って帰るイメージがありますが、どのくらいの方が自分へも買っているのか、男女別で聞いてみました。すると、「必ず買う」・「ときどき買う」と回答した人は、男女共に 80%以上と多いことがわかりました<図 4>。

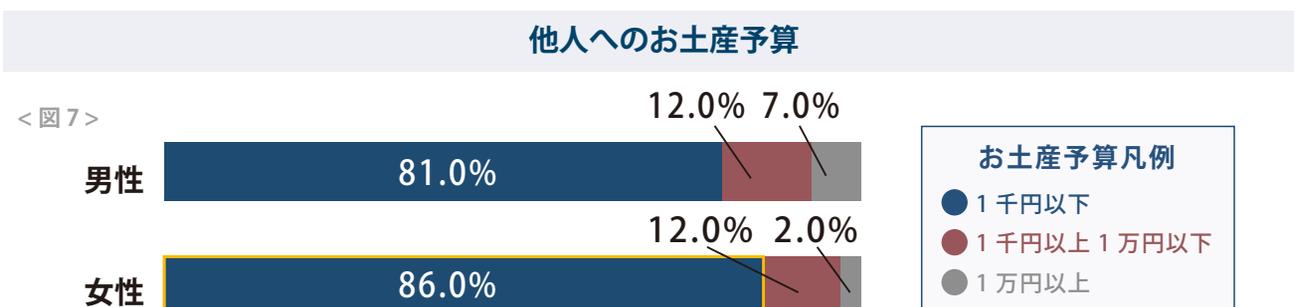
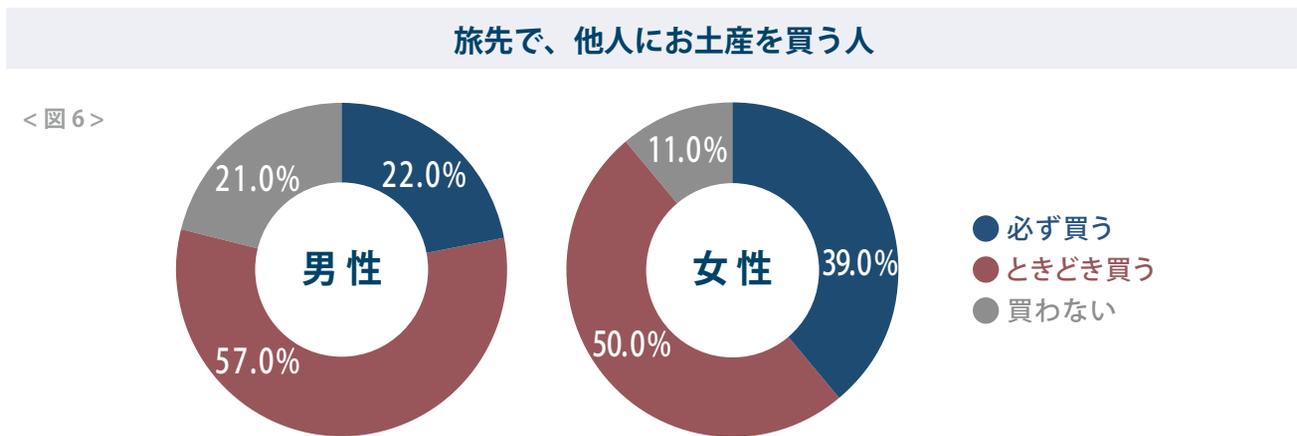


続いてその予算を聞いてみると、女性の75.0%、男性の78.0%が「1,000円以下」と回答しています<図5>。さらに、「10,000円以上」かけると回答する男性の割合が女性を上回り、お土産の内容は、その土地のお酒や特産品など嗜好品が目立ちました。



## <調査4> 他人へのお土産予算、女性の約9割が1,000円以下！

続いて、他人へのお土産の購入について調査した結果、男女共に、「必ず買う」・「ときどき買う」と回答する人が半数以上いることが判明しました<図6>。また、その予算を聞いてみると、「1,000円以下」と回答する女性が男性と比べて多いことがわかりました<図7>。



今後も日本各地のご当地のお土産に関して、消費者の動向を調査してまいります。



## 調査概要：お土産に関する消費者動向調査

調査日 2018年 8月31日(金)～2018年 9月1日(土)

調査方法 インターネット調査

調査人数 1,195名 ※本リリースにおける調査結果は少数第一位で四捨五入

調査対象 全国 10～70代男女

調査主体 ゼネラルリサーチ